



今月のテーマ これが「あだち放課後 子ども教室」です

平成19年から始まった「あだち放課後子ども教室」。今では区内のすべての小学校で開催されています。

「放課後子ども教室というものがあるそうですが、どんなものですか？」

という問い合わせを最近よくいただきます。聞いた事はあるけれど内容はよくわからない…というお電話です。

そこで今回は「あだち放課後子ども教室」についてお話しをします。



●子どもたちが『安全・安心』に集える居場所です。

授業が終わった後、子どもたちは学校に残り、宿題をしたり、本を読んだり、校庭や体育館で思いきり遊んだり、自由に活動します。それがあだち放課後子ども教室です。

「みんなで仲良く遊ぶ」

「けんかはするけど自分たちで仲直りができる」

「他の学年の子と一緒に遊ぶ」など、子どもたち自身で考え、楽しく活動する居場所です。

「上の学年の子が下の学年の子の面倒をみながら一緒に遊ぶ」など、微笑ましい光景が校内のあちらこちらで見受けられます。



スタッフを募集している放課後子ども教室があります。詳しくは下記までご連絡ください。

問い合わせ ▶ (公財) 足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当

☎5813・3732 (平日 午前9時～午後5時)

●“5つのねらい”があります。

あだち放課後子ども教室を通して「子どもたちがこうなってくれたら、うれしいなあ」という5つのねらいがあります。

◆他学年の子や地域の大人との交流によって、**社会性や協調性**を養う。

◆自由遊びや自主学習などを通じて、**自分で考え行動する力**を伸ばす。

◆校庭や体育館を使った集団での遊びで**運動能力や体力**を高める。

◆友だちと宿題や読書のできる場をつくり、**学習意欲**を高める。

◆思いきり体を動かすことで、食事や早寝など**生活リズム**を整える。



この活動に参加することで、これらのねらいが達成されることをめざしています。

●地域のみなさまが、あたたかく子どもたちを見守っています。

子どもたちが日々、安全・安心に活動できるようスタッフを数名配置しています。このスタッフは、“見守りスタッフ”といい、子どもたちの健やかな成長を願う地域の協力者です。

活動場所が安全に使用できるか見回ったり、子ども同士のトラブルの仲裁に入ったり、ケガをした時の応急手当と保護者への連絡などを行っています。普段は優しいスタッフですが、子どもたちが活動のルールを守らない時や、危ないことをした時は厳しく注意をしています。

子どもたちが安心して楽しく活動できるのは、あたたかく見守ってしてくれるスタッフの力があるからです。

あだち放課後子ども教室は、「地域のみなさん」と「学校」の協力を得ながら開催しています。放課後、子どもの安全・安心な居場所として活用してください。

「うちの子、あんなに笑顔で過ごしているんだわ！」というように、子どもの新たな一面を発見できるかもしれません。保護者のみなさま、ぜひ見学にいらしてください。

